

# プラズマ・核融合学会誌

第87巻第11号

2011年11月

|                          |  |     |
|--------------------------|--|-----|
| 解 説                      | 大気圧放電プラズマを利用した紙のリユースプリンティングシステム<br>..... 橋本雄一, 不藤亮介  | 743 |
| プロジェクトレビュー               | GAMMA 10 改造 (GAMMA-PDX) 計画と境界プラズマ研究<br>..... 今井 剛, GAMMA 10 グループ   | 752 |
| インフォメーション                | .....<br>ITER だより(30)<br>【会議報告】国際ワークショップ ITER 時代における磁場核融合エネルギーのロードマップ作成/<br>International Conference on Numerical Simulation of Plasmas; ICNSP/<br>International Symposium of Fusion Nuclear Technology (ISFNT-10) | 787 |
| Plasma & Fusion Calendar | .....  | 791 |
| 本 会 記 事                  | .....<br>第24回専門講習会開催のお知らせ  | 793 |

## 表紙の絵

大型トカマク装置 JT-60U の高ポロイダルベータディスラプションにおいて、電流クエンチ時の電流減衰モデルが実験的に検証された。図は実際の放電時の (a) プラズマ電流 ( $I_p$ )、(b) 電子温度分布 ( $T_e$ )、(c) プラズマインダクタンス ( $L_p$ )、内部インダクタンス ( $L_i$ )、(d) ポロイダルベータ値 ( $\beta_p$ ) の時間発展。電流クエンチの初期においては電流密度分布がピークした形に変化しており、既存の  $L/R$  モデルにプラズマインダクタンスの時間変化の効果を組み込むことにより、電流減衰時間をモデルより再現できることが判明した。(Yoshihide SHIBATA *et al.*, Plasma and Fusion Research Vol. 6, 1302136 (2011) <http://www.jspf.or.jp/PFR/>)

【複写をされる方へ】本学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています。本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けてください。但し、企業等法人による社内利用目的複写については、当該企業等法人が社団法人日本複写権センター(社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はありません(社外頒布用の複写については許諾が必要です)。

権利委託先：一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052東京都港区赤坂9-6-41乃木坂ビル 3F Tel: 03-3475-5618 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾(著作物の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託しておりません。直接当学会へお問い合わせください。